

法 規 （第 1 問～第25問）

設問中の法令とは、毒物及び劇物取締法（法）、毒物及び劇物取締法施行令（政令）、毒物及び劇物指定令（政令）、毒物及び劇物取締法施行規則（省令）を指す。

第 1 問 次の記述は、毒物及び劇物取締法の条文の一部である。（ ）の中に入る字句として、正しいものの組合せはどれか。

この法律は、毒物及び劇物について、（ a ）の見地から必要な（ b ）を行うことを目的とする。

この法律で「劇物」とは、別表第 2 に掲げる物であって、医薬品及び（ c ）以外のものをいう。

解答番号	a	b	c
1	保健衛生上	指導	医薬部外品
2	公衆衛生上	指導	化粧品
3	保健衛生上	取締	化粧品
4	公衆衛生上	取締	医薬部外品
5	保健衛生上	取締	医薬部外品

第 2 問 次のうち、特定毒物に該当するものの組合せはどれか。

- a シアン化ナトリウム
- b モノフルオール酢酸
- c クラレー
- d モノクロル酢酸
- e 四アルキル鉛

1（a、b） 2（a、d） 3（b、c） 4（b、e） 5（d、e）

第 3 問 次の記述は、毒物及び劇物取締法の条文の一部である。（ ）の中に入る字句として、正しいものの組合せはどれか。

毒物又は劇物の販売業の登録を受けた者でなければ、毒物又は劇物を販売し、授与し、又は販売若しくは授与の目的で（ ）し、運搬し、若しくは（ ）してはならない。

- a 貯蔵
- b 保管
- c 所持
- d 陳列
- e 広告

1（a、c） 2（a、d） 3（a、e） 4（b、d） 5（b、e）

第4問 特定毒物の取扱い等に関する次の記述のうち、正しいものの組合せはどれか。

- a 毒物又は劇物の製造業者は、毒物又は劇物の製造のために特定毒物を使用することができる。
- b 特定毒物研究者の許可は、5年ごとに、更新を受けなければ、その効力を失う。
- c 特定毒物使用者は、その使用することができる特定毒物以外の特定毒物を所持してはならない。
- d 特定毒物研究者は、特定毒物を品目ごとに政令で定める用途以外の用途に供してはならない。

1 (a、c) 2 (a、d) 3 (b、c) 4 (b、d) 5 (c、d)

第5問 次のうち、ジメチルエチルメルカプトエチルチオホスフェイトを含有する製剤の着色の基準として、政令で定められているものはどれか。

- 1 緑色
- 2 青色
- 3 黄色
- 4 紅色
- 5 黒色

第6問 次の記述は、毒物及び劇物取締法の条文の一部である。()の中に入る字句として、正しいものの組合せはどれか。

興奮、()又は麻酔の作用を有する毒物又は劇物（これらを含有する物を含む。）であって政令で定めるものは、みだりに摂取し、若しくは()し、又はこれらの目的で所持してはならない。

- a 依存 b 幻覚 c 鎮静 d 吸入 e 使用

1 (a、d) 2 (a、e) 3 (b、d) 4 (b、e) 5 (c、d)

第7問 次のうち、引火性、発火性又は爆発性のある毒物又は劇物であって、業務その他正当な理由による場合を除いては、所持してはならない物として、政令で定められているものはどれか。

- 1 硝酸
- 2 発煙硫酸
- 3 カリウム
- 4 ジボラン
- 5 ナトリウム

第8問 次のうち、毒物劇物農業用品目販売業者が販売することができないものの組合せはどれか。

- a 臭素
- b ロテノン
- c 水酸化リチウム
- d エチレンクロルヒドリン
- e アバメクチン

1 (a、c) 2 (a、d) 3 (a、e) 4 (b、d) 5 (b、e)

第9問 次のうち、毒物劇物特定品目販売業者が販売することができないものはどれか。

- 1 重クロム酸アンモニウム
- 2 アクリルアミド
- 3 ^{しょう}修酸マンガン
- 4 アンモニア
- 5 メチルエチルケトン

第10問 毒物劇物営業者に関する次の記述のうち、正しいものの組合せはどれか。

- a 毒物又は劇物の販売業の登録は、厚生労働大臣が行う。
- b 毒物又は劇物の製造業の登録は、6年ごとに、更新を受けなければ、その効力を失う。
- c 毒物又は劇物の輸入業者は、自ら輸入した毒物又は劇物を、他の毒物劇物営業者に販売することができる。
- d 毒物又は劇物の製造業者は、登録を受けた毒物又は劇物以外の毒物又は劇物を製造しようとするときは、あらかじめ、登録の変更を受けなければならない。

1 (a、c) 2 (a、d) 3 (b、c) 4 (b、d) 5 (c、d)

第11問 次の記述のうち、毒物又は劇物の販売業の店舗の設備の基準として、法令で定められているものの組合せはどれか。

- a 毒物又は劇物を貯蔵する場所が性質上かぎをかけることができないものであるときは、その周囲に、関係者以外の立入りを禁止する表示があること。
- b 毒物又は劇物の運搬用具は、毒物又は劇物が飛散し、漏れ、又はしみ出るおそれがないものであること。
- c 貯水池その他容器を用いないで毒物又は劇物を貯蔵する設備は、毒物又は劇物が飛散し、地下にしみ込み、又は流れ出るおそれがないものであること。
- d 毒物又は劇物を含有する粉じん、蒸気又は廃水の処理に要する設備又は器具を備えていること。

1 (a、b) 2 (a、c) 3 (b、c) 4 (b、d) 5 (c、d)

第12問 次のうち、毒物劇物営業者が、毒物の容器及び被包に表示しなければならないものとして、法令で定められているものはどれか。

- 1 「医薬部外」の文字及び赤地に白色をもって「毒物」の文字
- 2 「医薬用外」の文字及び白地に赤色をもって「毒物」の文字
- 3 「医薬部外」の文字及び白地に赤色をもって「毒物」の文字
- 4 「医薬用外」の文字及び赤地に白色をもって「毒物」の文字
- 5 「医薬部外」の文字及び黒地に白色をもって「毒物」の文字

第13問 次の記述は、毒物及び劇物取締法の条文の一部である。（ ）の中に入る字句として、正しいものの組合せはどれか。

毒物劇物営業者は、その容器及び被包に、左に掲げる事項を表示しなければ、毒物又は劇物を販売し、又は授与してはならない。

- 一 毒物又は劇物の（ a ）
- 二 毒物又は劇物の成分及びその（ b ）
- 三 厚生労働省令で定める毒物又は劇物については、それぞれ厚生労働省令で定めるその（ c ）の名称

解答番号	a	b	c
1	名称	含量	解毒剤
2	使用期限	化学式	中和剤
3	使用期限	含量	解毒剤
4	名称	化学式	解毒剤
5	名称	含量	中和剤

第14問 次の記述のうち、毒物及び劇物の製造業者又は輸入業者が、その製造し、又は輸入したジメチルー2・2-ジクロロビニルホスフェイト（別名DDVP）を含有する製剤（衣料用の防虫剤に限る。）を販売し、又は授与するときに、その容器及び被包に表示しなければならない事項として、正しいものの組合せはどれか。

- a 眼に入った場合は、直ちに流水でよく洗い、医師の診断を受けるべき旨
- b 使用の際、手足や皮膚、特に眼にかからないように注意しなければならない旨
- c 居間等人が常時居住する室内では使用してはならない旨
- d 使用直前に開封し、包装紙等は直ちに処分すべき旨

- 1（a、c） 2（a、d） 3（b、c） 4（b、d） 5（c、d）

第15問 毒物劇物取扱責任者に関する次の記述のうち、正しいものの組合せはどれか。

- a 毒物劇物営業者は、毒物劇物取扱責任者となる資格を有する場合であつて、自ら毒物又は劇物による保健衛生上の危害の防止に当たる場合には、その製造所、営業所又は店舗の毒物劇物取扱責任者になることができる。
- b 20歳未満の者は、毒物劇物取扱責任者になることができない。
- c 特定品目毒物劇物取扱者試験に合格した者は、特定品目である毒物又は劇物のみを取り扱う毒物劇物輸入業の営業所の毒物劇物取扱責任者になることができる。
- d 毒物劇物営業者は、毒物劇物取扱責任者を置こうとするときは、あらかじめ、その毒物劇物取扱責任者の氏名を届け出なければならない。

1 (a、b) 2 (a、c) 3 (b、c) 4 (b、d) 5 (c、d)

第16問 次の記述は、毒物及び劇物取締法の条文の一部である。()の中に入る字句として、正しいものの組合せはどれか。

次の各号に掲げる者でなければ、前条の毒物劇物取扱責任者となることができない。

一 ()

二 厚生労働省令で定める学校で、()に関する学課を修了した者

三 都道府県知事が行う毒物劇物取扱者試験に合格した者

a 医師 b 薬剤師 c 甲種危険物取扱者 d 基礎化学 e 応用化学

1 (a、d) 2 (a、e) 3 (b、d) 4 (b、e) 5 (c、e)

第17問 次の記述のうち、毒物劇物営業者が、30日以内にその旨を届け出なければならない場合として、法令で定められているものはいくつあるか。

- a 毒物又は劇物の製造業者が法人である場合において、その業務を行う役員を変更したとき。
- b 毒物又は劇物の販売業者が、その店舗の名称を変更したとき。
- c 毒物又は劇物の輸入業者が、その営業所における営業を廃止したとき。
- d 毒物又は劇物の製造業者が、毒物又は劇物を製造する設備の重要な部分を変更したとき。

1 なし 2 1つ 3 2つ 4 3つ 5 4つ

第18問 次の記述のうち、毒物劇物営業者が、毒物又は劇物を他の毒物劇物営業者に販売し、又は授与したときに、書面に記載しておかなければならない事項として、法令で定められているものはいくつあるか。

- a 毒物又は劇物の名称及び数量
- b 譲受人の年齢
- c 毒物又は劇物の製造番号
- d 販売又は授与の年月日

1 なし 2 1つ 3 2つ 4 3つ 5 4つ

第19問 毒物劇物営業者による毒物又は劇物の交付に関する次の記述の正誤について、正しい組合せはどれか。

- a 麻薬、大麻、あへん又は覚せい剤の中毒者に交付してはならない。
- b 薬事に関する罪を犯し、罰金以上の刑に処せられ、その執行を終り、又は執行を受けることがなくなった日から起算して3年を経過していない者に交付してはならない。
- c 身分証明書等により、その交付を受ける者の氏名及び住所を確認したときは、帳簿に交付した劇物の名称、交付の年月日、交付を受けた者の氏名及び住所を記載し、その帳簿を、最終の記載をした日から5年間、保存しなければならない。

解答番号	a	b	c
1	正	誤	正
2	正	誤	誤
3	誤	誤	正
4	誤	正	誤
5	正	正	正

第20問 次の記述は、毒物及び劇物取締法施行令の条文の一部である。（ ）の中に入る字句として、正しいものの組合せはどれか。

法第15条の2の規定により、毒物若しくは劇物又は法第11条第2項に規定する政令で定める物の廃棄の方法に関する技術上の基準を次のように定める。

- 一 中和、加水分解、酸化、還元、（ a ）その他の方法により、毒物及び劇物並びに法第11条第2項に規定する政令で定める物のいずれにも該当しない物とすること。
- 二 ガス体又は揮発性の毒物又は劇物は、保健衛生上危害を生ずるおそれがない場所で、（ b ）放出し、又は揮発させること。
- 三 可燃性の毒物又は劇物は、保健衛生上危害を生ずるおそれがない場所で、（ b ）燃焼させること。
- 四 前各号により難い場合には、地下（ c ）以上で、かつ、地下水を汚染するおそれがない地中に確実に埋め、海面上に引き上げられ、若しくは浮き上がるおそれがない方法で海水中に沈め、又は保健衛生上危害を生ずるおそれがないその他の方法で処理すること。

解答番号	a	b	c
1	蒸留	少量ずつ	3メートル
2	稀釈	少量ずつ	1メートル
3	稀釈	すみやかに	1メートル
4	蒸留	すみやかに	1メートル
5	稀釈	少量ずつ	3メートル

第21問 水酸化カリウム30%を含有する製剤を、車両を使用して1回につき5,000キログラム以上運搬する場合の運搬方法等に関する次の記述について、（ ）に入る字句として、正しいものの組合せはどれか。

1人の運転者による運転時間が、2日（始業時刻から起算して48時間をいう。）を平均し1日当たり（ a ）を超える場合は、交替して運転する者を同乗させなければならない。

車両には、0.3メートル平方の板に地を（ b ）、文字を白色として「毒」と表示し、車両の前後の見やすい箇所に掲げなければならない。

車両には、事故の際に応急の措置を講ずるために必要な保護具で厚生労働省令で定めるものを（ c ）以上備えなければならない。

解答番号	a	b	c
1	9時間	赤色	2人分
2	4時間	黒色	2人分
3	9時間	黒色	1人分
4	4時間	赤色	1人分
5	9時間	黒色	2人分

第22問 次の記述は、毒物及び劇物取締法の条文の一部である。（ ）の中に入る字句として、正しいものの組合せはどれか。

（ a ）及び特定毒物研究者は、その取扱いに係る毒物又は劇物が盗難にあい、又は紛失したときは、（ b ）、その旨を（ c ）に届け出なければならない。

解答番号	a	b	c
1	毒物劇物取扱責任者	遅滞なく	保健所
2	毒物劇物営業者	遅滞なく	警察署
3	毒物劇物営業者	直ちに	警察署
4	毒物劇物取扱責任者	直ちに	警察署
5	毒物劇物営業者	直ちに	保健所

第23問 行政上の措置等に関する次の記述のうち、正しいものの組合せはどれか。

- a 都道府県知事は、保健衛生上必要があると認めるときは、毒物劇物営業者若しくは特定毒物研究者から必要な報告を徴することができる。
- b 毒物劇物監視員は、都道府県知事が、環境衛生監視員のうちからあらかじめ指定する。
- c 都道府県知事は、毒物劇物監視員に、毒物又は劇物の販売業の店舗に立ち入り、又は犯罪捜査のため必要な最小限度の分量に限り、毒物又は劇物を収去させることができる。
- d 毒物劇物監視員は、その身分を示す証票を携帯し、関係者の請求があるときは、これを提示しなければならない。

1（a、b） 2（a、d） 3（b、c） 4（b、d） 5（c、d）

第24問 登録が失効した場合等の措置に関する次の記述の正誤について、正しい組合せはどれか。

- a 特定毒物研究者は、その許可が効力を失ったときは、30日以内に、現に所有する特定毒物の品名及び数量を届け出なければならない。
- b 毒物劇物営業者は、その営業の登録が効力を失ったときは、50日以内に、現に所有する特定毒物を他の毒物劇物営業者に譲り渡すことができる。
- c 特定毒物研究者は、その許可が効力を失った日から起算して50日を超えて特定毒物を所持することはできない。

解答番号	a	b	c
1	正	正	正
2	正	誤	誤
3	誤	正	正
4	誤	正	誤
5	誤	誤	誤

第25問 次のうち、毒物又は劇物の業務上取扱者として、その事業場の所在地の都道府県知事（その事業場の所在地が保健所を設置する市又は特別区の区域にある場合においては、市長又は区長）に届け出なければならない者として、法令で定められているものはいくつあるか。

- a シアン化銀を使用する電気めっき業者
- b 最大積載量5,000キログラムの自動車に固定された容器を用いてジメチル硫酸を運送する業者
- c アンモニアを使用する金属熱処理業者
- d 亜^ひ砒酸を使用するしろあり防除業者

1 なし 2 1つ 3 2つ 4 3つ 5 4つ

法規の問題は以上で終了です。

学 科 (第26問～第45問)

設問中の物質の性状は、特に規定しない限り常温常圧におけるものとする。
なお、mol/Lは「モル濃度」を、mLは「ミリリットル」を表すこととする。

第26問 物質の分類に関する次の記述について、正しいものはどれか。

- 1 リチウムは、非金属元素である。
- 2 ダイヤモンドと黒鉛は、互いに同素体である。
- 3 アンモニアは、単体である。
- 4 石油は、純物質である。
- 5 オゾンと酸素は、互いに同位体である。

第27問 次のうち、イオン化傾向が最も小さい金属はどれか。

- 1 C u
- 2 N a
- 3 A l
- 4 F e
- 5 Z n

第28問 元素と周期表に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- 1 アルカリ金属の単体は、1 価の陰イオンになりやすい。
- 2 15族元素は、遷移元素である。
- 3 2族元素は、いずれも炎色反応を示す。
- 4 貴ガス（希ガス）の単体は、二原子分子である。
- 5 ハロゲンの単体は、原子番号が小さいものほど酸化力が大きい。

第29問 次の記述のうち、アボガドロの法則の説明として、正しいものはどれか。

- 1 物質が変化する際の反応熱の大きさは、変化する前の状態と変化した後の状態だけで決まり、その変化の経路には無関係である。
- 2 一定量の気体の体積は、圧力に反比例し、絶対温度に比例する。
- 3 同温・同圧のもとでは、気体の種類によらず、同体積の気体には同数の分子が含まれる。
- 4 化学反応が平衡状態にあるとき、濃度・圧力・温度などの反応条件を変化させると、その変化をやわらげる方向に反応が進み、新しい平衡状態になる。
- 5 一定量の溶媒に溶解込む気体の質量は、一定温度のもとでは、その気体の圧力（混合気体の場合は分圧）に比例する。

第30問 酸と塩基に関する次の記述のうち、正しいものの組合せはどれか。

- a 塩基とは、相手に水素イオンを与える分子又はイオンである。
- b 水素イオン濃度 $[H^+]$ が 0.01 mol/L の水溶液のpHは、2である。
- c 炭酸水素ナトリウム ($NaHCO_3$) は、酸性塩である。
- d メチルオレンジは、塩基性水溶液中で赤色を示す。

1 (a、b) 2 (a、c) 3 (a、d) 4 (b、c) 5 (b、d)

第31問 次のうち、塩素酸カリウム ($KClO_3$) を構成する塩素原子Clの酸化数として、正しいものはどれか。

- 1 -1
- 2 +1
- 3 +3
- 4 +5
- 5 +7

第32問 コロイドに関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- 1 コロイド溶液に少量の電解質溶液を加えると、コロイド粒子が互いに引き合い、集合し、大きな粒子となって沈殿する。この現象を透析という。
- 2 コロイド溶液中に分散しているコロイド粒子の物質を分散媒、分散させている物質を分散質という。
- 3 コロイド粒子は、半透膜を通過することができる。
- 4 コロイド溶液をU字管に入れて2本の電極を直流電源につなぐと、電荷を帯びたコロイド粒子が電極の一方に引かれて移動する。この現象をブラウン運動という。
- 5 コロイド溶液に強い光線を当てて側面から見ると、光の通路が輝いて見える。この現象をチンダル現象という。

第33問 有機化合物に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- 1 エタノールは、第一級アルコールである。
- 2 第二級アルコールを酸化するとエーテルを生成する。
- 3 ベンゼン環をもつ炭化水素を芳香族炭化水素という。
- 4 エチレンは、分子中に二重結合を有する。
- 5 エステルに強塩基を加えて加水分解することをけん化という。

第34問 次のうち、カルボキシ基（ $-\text{COOH}$ ）を有する化合物として、正しいものはどれか。

- 1 アセチレン
- 2 フェノール
- 3 酢酸
- 4 ジエチルエーテル
- 5 アニリン

第35問 次のうち、 0.40 mol/L 水酸化ナトリウム水溶液 30 mL を過不足なく中和するために必要となる 0.30 mol/L 硫酸水溶液の量として、正しいものはどれか。

- 1 10 mL
- 2 20 mL
- 3 40 mL
- 4 60 mL
- 5 120 mL

第36問 毒性に関する次の記述について、（ ）に入る字句として、正しいものの組合せはどれか。

LD_{50} とは、物質の（ a ）の指標のひとつであり、一定の条件下で、その物質を投与した動物の半数が死亡する量をいい、この値が（ b ）ほど毒性が強い。

誤飲、誤食あるいは使用中に消化管から吸収されることにより発現する毒性を（ c ）という。

解答番号	a	b	c
1	慢性毒性	大きい	吸入毒性
2	慢性毒性	小さい	経口毒性
3	急性毒性	大きい	経口毒性
4	急性毒性	小さい	経口毒性
5	急性毒性	小さい	吸入毒性

第37問 キシレンに関する次の記述のうち、正しいものの組合せはどれか。

- a 3種類の異性体が存在する。
- b 高濃度で麻酔作用がある。
- c 不燃性である。
- d 無色透明の気体である。

1 (a、b) 2 (a、c) 3 (a、d) 4 (b、c) 5 (b、d)

第38問 ^{しゅう}脛酸に関する次の記述のうち、正しいものの組合せはどれか。

- a 無水物は、吸湿性を有する。
- b 黒色の結晶である。
- c 10%を含有する製剤は、劇物である。
- d 構造中に2個のアミノ基を有する。
- e 体内では、血液中のカルシウム分を奪取し、神経系を^{おか}侵す。

1 (a、c) 2 (a、e) 3 (b、e) 4 (c、d) 5 (c、e)

第39問 アンモニアに関する次の記述のうち、誤っているものの組合せはどれか。

- a 水溶液に濃塩酸を付着させたガラス棒を近づけると、白い霧を生じる。
- b 刺激臭のある赤褐色の気体である。
- c ガスを吸入すると、鼻やのどの粘膜を激しく刺激する。
- d 水溶液は、青色リトマス試験紙を赤変させる。
- e 冷媒や化学工業の原料として用いられる。

1 (a、b) 2 (a、d) 3 (b、c) 4 (b、d) 5 (d、e)

第40問 重クロム酸カリウムに関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- 1 橙赤色の結晶である。
- 2 化学式は、 $\text{K}_2\text{Cr}_2\text{O}_7$ である。
- 3 強力な還元剤である。
- 4 粘膜刺激性を有する。
- 5 顔料の原料として用いられる。

第41問 硫酸に関する次の記述のうち、正しいものの組合せはどれか。

- a 白色の液体である。
- b 強い吸湿性を有する。
- c 熱濃硫酸は、強い還元作用を有する。
- d 希硫酸にフェノールフタレインを加えると赤変する。
- e 濃硫酸に水を加えると、大きな溶解熱を生じる。

1 (a、b) 2 (b、c) 3 (b、e) 4 (c、e) 5 (d、e)

第42問 次の記述は、ある物質の毒性に関するものである。これにあてはまるものはどれか。

経口摂取すると、頭痛、めまい、嘔吐、下痢、腹痛などを起こし、致死量に近ければ麻酔状態になり、視神経が侵され、眼がかすみ、失明することがある。

- 1 四塩化炭素
- 2 塩酸
- 3 硝酸
- 4 水酸化ナトリウム
- 5 メタノール

第43問 次の記述のうち、「毒物及び劇物の廃棄の方法に関する基準」に基づくホルムアルデヒドの廃棄の方法として、正しいものはどれか。

- 1 不活性ガスを通じて酸素濃度を3%以下にしたグローブボックス内で乾燥した鉄製容器を用い、エタノールを徐々に加えて溶解した後、水を徐々に加えて加水分解し、希硫酸等で中和する。
- 2 水酸化ナトリウム水溶液等でアルカリ性とし、過酸化水素水を加えて分解させ、多量の水で希釈して処理する。
- 3 水を加えて希薄な水溶液とし、酸（希塩酸等）で中和させた後、多量の水で希釈して処理する。
- 4 セメントを用いて固化し、溶出試験を行い、溶出量が判定基準以下であることを確認して埋立処分する。
- 5 水に溶かし、消石灰、ソーダ灰等の水溶液を加えて処理し、沈殿ろ過して埋立処分する。

第44問 次の記述のうち、「毒物及び劇物の運搬事故時における応急措置に関する基準」に基づくクロム酸ナトリウムの漏えい時の措置として、正しいものはどれか。

- 1 飛散したものは空容器にできるだけ回収した後、還元剤（硫酸第一鉄等）の水溶液を散布し、消石灰、ソーダ灰等の水溶液で処理した後、多量の水を用いて洗い流す。
- 2 土砂等でその流れを止め、安全な場所に導き、液の表面を泡で覆いできるだけ空容器に回収する。
- 3 漏えいしたボンベ等を多量の水酸化ナトリウム水溶液中に容器ごと投入してガスを吸収させて処理し、その処理液を多量の水で希釈して流す。
- 4 土砂等でその流れを止め、土砂等で表面を覆い、放置して冷却固化させた後、掃き集めて空容器にできるだけ回収した後、多量の水を用いて洗い流す。
- 5 飛散したものは空容器にできるだけ回収する。砂利等に付着している場合は、砂利等を回収した後、水酸化ナトリウム、ソーダ灰等の水溶液を散布してアルカリ性（pH11以上）とし、さらに酸化剤（次亜塩素酸ナトリウム、さらし粉等）の水溶液で酸化処理を行い、多量の水を用いて洗い流す。

第45問 次の記述のうち、クロロホルムの貯蔵方法として、正しいものはどれか。

- 1 少量の場合は褐色ガラス瓶を、大量の場合はカーボイ等を使用し、3分の1の空間を保って貯蔵する。
- 2 空気に触れると発火しやすいため、水中に沈めて瓶に入れ、さらに砂を入れた缶中に固定して、冷暗所に貯蔵する。
- 3 空気中にそのまま保存することができないため、石油中に貯蔵する。
- 4 二酸化炭素と水を吸収する性質が強いため、密栓して貯蔵する。
- 5 冷暗所に貯蔵する。純品は空気と日光によって変質するため、少量のアルコールを加えて分解を防止する。

学科の問題は以上で終了です。

実 地 （第46問～第60問）

設問中の物質の性状は、特に規定しない限り常温常圧におけるものとする。

第46問～第50問 次の表の各問に示した性状等にあてはまる物質を、それぞれ下の物質欄から選び、番号で答えなさい。

問題番号	色	状態	用途	その他
第46問	無色	液体	溶剤 有機合成原料	アセトン様の 芳香を有する
第47問	無色	液体	冶金 爆薬原料	腐食性が激しい
第48問	黄色～ 赤黄色	粉末	顔料	酸、アルカリに可溶
第49問	無色	液体	漂白剤	酸化、還元の 両方の作用を有する
第50問	白色	結晶	ゆう薬（うわぐすり） 試薬	酸に接触すると 有毒なガスを生じる

物 質 欄	
1	過酸化水素水
2	硝酸
3	メチルエチルケトン
4	けいふつ 硅弗化ナトリウム
5	クロム酸鉛

第51問～第52問 ホルマリン（ホルムアルデヒドの水溶液）の性状及び鑑別法に関する次の記述について、（ ）にあてはまる字句を下欄からそれぞれ選び、番号で答えなさい。

【性 状】 無色透明の催涙性液体で刺激臭を有する。空気中の酸素によって一部が酸化され、（ 第51問 ）を生じる。

【鑑別法】 フェーリング溶液とともに熱すると、（ 第52問 ）の沈殿を生成する。

《下欄》

- 第51問
- 1 メタノール
 - 2 エタノール
 - 3 酢酸
 - 4 安息香酸
 - 5 ギ酸

- 第52問
- 1 緑色
 - 2 白色
 - 3 黄色
 - 4 赤色
 - 5 黒色

第53問～第54問 塩素の性状及び用途に関する次の記述について、（ ）にあてはまる字句を下欄からそれぞれ選び、番号で答えなさい。

【性 状】 窒息性臭気を有する（ 第53問 ）の気体。

【用 途】 （ 第54問 ）。

《下欄》

- 第53問
- 1 無色
 - 2 黄緑色
 - 3 赤褐色
 - 4 黒紫色
 - 5 濃青色

- 第54問
- 1 酸化剤、漂白剤、殺菌剤
 - 2 鉛丹の原料、鉛ガラスの原料、ゴムの加硫促進剤
 - 3 工業用発光原料、リトポン原料
 - 4 木材防腐剤、コンクリート増強剤
 - 5 ワニスの乾燥剤、船底塗料、塩化ビニルの安定剤

第55問～第57問 水酸化ナトリウムの性状、用途及び鑑別法に関する次の記述について、（ ）にあてはまる字句を下欄からそれぞれ選び、番号で答えなさい。

【性 状】 白色、結晶性の硬い固体。空気中に放置すると、（ 第55問 ）して徐々に炭酸塩の皮層を生成する。

【用 途】 （ 第56問 ）。

【鑑別法】 水溶液を白金線につけて無色の火炎中に入れると、火炎は著しく（ 第57問 ）に染まり、長時間続く。

《下欄》

- 第55問
- 1 風解
 - 2 酸化
 - 3 潮解
 - 4 還元
 - 5 気化

- 第56問
- 1 温度計、気圧計、歯科用アマルガム
 - 2 せっけん製造、パルプ工業、染料工業
 - 3 樹脂、塗料等の溶剤、燃料
 - 4 捺染剤、木、コルク、綿、^{なつ}藁製品等の漂白剤
 - 5 フロンガスの原料、ガソリンのアルキル化反応の触媒、ガラスのつや消し

- 第57問
- 1 青色
 - 2 紫色
 - 3 赤色
 - 4 緑色
 - 5 黄色

第58問 次の記述は、ある物質の鑑別法に関するものである。これにあてはまるものはどれか。

硫酸及び過マンガン酸カリウムを加えて加熱すると、ガスが発生し、このガスは、潤したヨウ化カリウムデンプン紙を青変させる。

- 1 四塩化炭素
- 2 クロロホルム
- 3 酸化第二水銀
- 4 塩酸
- 5 メタノール

第59問 次の記述のうち、一酸化鉛の鑑別法として、正しいものはどれか。

- 1 水溶液は、過マンガン酸カリウム溶液の赤紫色を消す。
- 2 アルコール性の水酸化カリウムと銅粉とともに煮沸すると、黄赤色の沈殿を生成する。
- 3 希硝酸に溶かすと無色の液となり、これに硫化水素を通すと、黒色の沈殿を生成する。
- 4 水溶液に塩化バリウムを加えると、白色の沈殿を生成し、この沈殿は、塩酸や硝酸に溶けない。
- 5 銅屑^{くず}を加えて熱すると、藍色を呈して溶け、赤褐色の蒸気を生成する。

第60問 次の記述は、ある物質の性状に関するものである。これにあてはまるものはどれか。

無色透明の液体。果実様の芳香を有する。蒸気は、空気より重く、引火性を有する。

- 1 酢酸エチル
- 2 蓚^{しゅう}酸ナトリウム
- 3 クロム酸バリウム
- 4 重クロム酸ナトリウム
- 5 水酸化カリウム

実地の問題は以上で終了です。